

水産業探険少年団第9回活動 日立市内の淡水魚について学ぼう!

日時:平成 24 年 12月8日(土) 午前8時50 分から午後12時20 分まで

場所:たかはら自然塾・高原地区生活改善センター



高原地区生活改善センターに入ると、日立市内の川などで捕れた魚の標本があります。

山口さんから標本を見せていただきながら日立市内に生息する淡水魚について、説明をいただきました。

センターの内部はカジカの養殖ための水槽がたくさんあります。

たくさんの水を使いますが、裏山に流れている沢から水を引いているのだそうです。



ひとつの水槽には約 2,000 匹のカジカが入っています。



カジカの卵を見せてもらいました。虫眼鏡で見なければならぬほど、小さな卵でした。



カジカの他にも、ヤマメを見せてもらいました。

このヤマメは、体に模様が無いヤマメです。高森市の花貫川のある部分にしかいない、非常に貴重なヤマメだそうです。



写真を見ながら、川の魚たちが餌にしている水生昆虫の話や、川の環境の話などを伺いました。



たかはら自然塾に移動して、スクリーンの画面を見ながら、日立市内に生息する川魚や川の環境の講話をいただきました。

日立市内の川には、たくさん種類の魚が住んでいることが分かりました。



最後に、お土産にいただいた、メダカの飼育方法について、お話をいただきました。

メダカの飼い方のポイントは、餌をあげすぎないこと、だそうです。

また、水をあまり変えないことも重要なポイントだそうです。

雄雌の見分け方や、メダカといってもたくさんの種類があることが分かりました。

